

各 位

上場会社名	日本開閉器工業株式会社
代表者	代表取締役社長 大橋 智成
(コード番号)	6943)
問合せ先責任者	取締役 市川 忠夫
(TEL)	044-813-8026)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年11月6日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,100	△490	△380	△500	△60.67
今回発表予想(B)	5,640	△303	△190	△356	△43.21
増減額(B-A)	540	187	190	144	
増減率(%)	10.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	6,717	△577	△570	△1,243	△150.93

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,200	△410	△310	△460	△55.82
今回発表予想(B)	4,693	△329	△194	△440	△53.42
増減額(B-A)	493	81	116	20	
増減率(%)	11.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	5,692	△496	△451	△1,345	△163.21

修正の理由

1. 連結業績

当連結会計年度におきましては、一部の経済指標に部分的な回復の兆しが見られるものの、先行き不透明感は依然として強く残っており、設備投資の抑制や個人消費の低迷などの厳しい経営環境が継続しております。しかしながら、日本国内を中心に底打ち感が出てきているのも事実であり、当期の日本国内における産業用スイッチ(操作用スイッチ)市場の出荷総額も緩やかではありますが回復傾向にあります。

当社グループの売上高につきましても、重点取組商品及び特注品の販売に継続して積極的に取り組んだ結果、前回(平成21年11月6日)に公表しました業績予想に比べ、約10%増加する見込みです。また、利益面につきましては、上期の売上高低迷による損失を回復するには至りませんでした。下期における売上高の緩やかな回復及び人件費等の固定費を中心とした徹底的な経費削減により、前回に公表しました業績予想を上回る見込みです。

2. 個別業績

連結業績予想の修正の理由と概ね同様であります。

※ 本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上